



TITLE:

表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1982, 38(5)

ISSUE DATE:

1982-08-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/90765>

RIGHT:

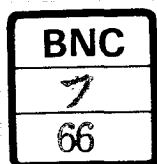
昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和57年8月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第38巻 第5号

ISSN 0525-2997

vol. 38 no. 5

物性研究

1982/8



京大附図



1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“ \square ”、イタリック“ — ”、ゴシック“ \sim ”、ギリシャ文字“ γ ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくい o と a と 0 （ゼロ）、 u と n と r 、 c と e 、 l （エル）と 1 （イチ）、 x と \times （カケル）、 u と v 、 \dagger （ダガー）と $+$ （プラス）、 ψ と ϕ と Ψ と Φ 等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（ $13\times 19\text{cm}$ ）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

基研研究部員会議・運営委員会報告

研究部員会議が1982年7月1, 2の2日間, 続いて運営委員会が7月3日に開かれた。以下はその簡単な報告である。(基研・山田)

1) 基研人事移動

氷上忍氏が4月1日付で東大教養学部へ転出, 同日, 米沢富美子氏の後任として山田耕作氏が静岡大工短大より着任。

2) 国際交流について

C. di Castro 氏(ローマ大)が9月1日~10月31日まで, J.A. Krumhansl 氏(コーネル大)が10月に数日, 基研に滞在の予定。なお, 新設の外国人客員部門教授人事については, 現在交渉中だが未決定。

3) Kyoto Summer Institute について

今年度は原子核の“Microscopic Theories of Nuclear Collective Motions”が7月12日~7月16日に開催された。来年度は統計力学の“Chaos and Statistical Mechanics”と決定しており, 現在準備が進行中である。Turbulence と Chaos に関する国際シンポジウム後の1983年9月12日~15日に開催し, 外国人講師10名程度を招き, 規模は80名程度になる予定。

4) 統計物理学助教授人事

氷上氏の後任として, 助教授または助手を公募していたが, 運営委員会で選考の結果, 小貫明氏(九大理)を助教授候補者として推薦することに決定した。

5) 今年度後期研究計画

今回, 物性関係では提案が1件のみで, 次の短期研究会が決定された。

資 料 研究会提案

集団生物学の理論的研究

イ) 趣 旨

集団遺伝学, 個体群生態学は, 生物集団における遺伝子, ゲノムの頻度乃至は個体数等の時間的空間的変化の法則性を追求することによって, 生命現象, 就中生物進化の包括的因果論的理解に到達しようとするものであって, 集団生物学の2大分野をなしている。この分野は, 概ね具体的な興味の対象も研究方法も互に異なり, ほぼ別々の研究者集団によって研究が進めら

れてきて、これまでは比較的交流が乏しかった。しかし、いずれにしても、様々な状態において自己複製能をもつ多数の要素（以下これをレプリコンと総称する）の集合の時間発展を力学的に取扱おうとする理論的立場からすれば、両者には本質的な差異はなく、共に粒子系の統計物理学に対するに、レプリコン系の統計物理学であるとの意識の下で研究をすすめることも可能で、一つの有効な方法と思われる。さらに、近年行動の遺伝的基礎の研究が進み、生物の行動様式や適応など、生態学における中心的課題の集団遺伝学的基礎を追求することが興味ある重要な研究として浮び上ってきた。例えば社会生物学などもその一環として捉えられる。

このような状況の下で、理論集団生物学の種々の領域でそれぞれ活発に研究を進めつつある研究者および統計物理学等関連分野で上記のような課題に強い関心をもつ研究者の参加を公募等によって求め、具体的な研究成果の総合的報告と、それを通じての討論、意見交換などを行い、今後の研究方向を見定めたい。

ロ) 世話人及び提案説明者（丸印）、連絡責任者（＊印）

寺本 英（京大・理）、重定南奈子^{*}（京大・理）、石井一成（九大・理）、
松田博嗣[○]（九大・理）

ハ) 研究会開催希望時期及び日数

12月中旬 3日間

ニ) 参加者予定数

約20名

プレプリント案内

〔京都大学基礎物理学研究所〕

- 8-1 Riichiro SHIROTA, Kazumasa MIYAKE, Masakazu ITO and Kazuo YAMADA (DPNU-21-82)
Dynamics of Longitudinal Component in Ordered Spin Systems
- 8-2 Kiyoshi KAWAMURA
Scattering of a Tight-Binding Electron off an Edge Dislocation
- 8-3 Koji NEMOTO, Hiroshi MATSUKAWA and Hajime TAKAYAMA
Monte Carlo Study on the 2D $\pm J$ Ising Spin Glass --Dynamical Behavior of Individual Spins and Spin Clusters--
- 8-4 Takeo IZUYAMA
Statistical Mechanics of Biomembrane Phase Transition. III
--Basic Concept of Cell Membrane Phase Transition--
- 8-5 Hajime TAKAYAMA and Gen SATO
Statistical Mechanics of the 1D Sine-Gordon System. II
--Transfer Integral Analysis in the Intermediate Temperature Region--
- 8-6 Kiyomi OKAMOTO and Tadao SUGIYAMA
Correlation Functions of One-Dimensional Conductors and
Transition Temperatures of Quasi-One-Dimensional Conductors
- 8-7 Fumio KOMORI, Shun-ichi KOBAYASHI and Wataru SASAKI
Spin Orbit Interaction and Electronic Conduction in Two-Dimensional Disordered Metals
- 8-8 Yasushi WADA
Diffusion Constant of a ϕ^4 -Kink: Quantum Corrections
- 8-9 Shigeru SHINOMOTO
Equilibrium Theory for the Hard Sphere System
- 8-10 Norio KAWAKAMI and Ayao OKIJI
Ground State of Asymmetric Anderson Hamiltonian
- 8-11 Ayao OKIJI and Norio KAWAKAMI
Magnetic Properties of Anderson Model at Zero Temperature

- 8-12 Y. KURAMOTO and S. KOGA (RIFP-477)
Anomalous Period-Doubling Bifurcations Leading to Chemical Turbulence
- 8-13 Kosaku YAMADA and Kei YOSIDA (RIFP-480)
Orthogonality Catastrophe for a System of Interacting Electrons. III
- 8-14 M. MANNINEN (SIN, PR-82-10)
Systematics of the Positive Muon Knight Shift in Simple Metals
- 8-15 D.J. THOULESS, M. KOHMOTO, M.P. NIGHTINGALE and M. den NIJS
Quantized Hall Conductance in a Two-Dimensional Periodic Potential
- 8-16 A. VERTES, ZS. KAJCSOS and L. MARCZIS (Budapest, KFKI-1982-26)
High Spin-Low Spin Iron(II) Solutions Studied by Positron Annihilation
- 8-17 M. GABAY, T. GAREL and C. De DOMINICIS (Dph-T/82-30)
Symmetry Breaking a la Parisi in the m Component SK Model of a Spin Glass
- 8-18 Robert B. PEARSON (CEN-Saclay)
The Partition Function of the Ising Model on the Periodic 4×4 Lattice
- 8-19 M. Segre de GIAMBIAGI, M. GIAMBIAGI and A. FREITAS CASTRO (CBPF-NF-02/82)
Excited States and Pairing Relations in Certain Conjugated Systems
- 8-20 P. Carrilho SOARES and L.C. GOMES (CBPF-NF-004/82)
Non-Holonomy and the Diffusion of Particles
- 8-21 R. FERREIRA and S.G. JACCHIERI (CBPF-NF-046/81)
Why Are There Two Kinds of Chain in Tetrameric Hemoglobins?
- 8-22 B. BASEIA and H.M. NUSSENZVEIG (IFUSP/P-308)
Semiclassical Theory of Transmission Loss in a Laser
- 8-23 I. KIMEL (IFUSP/P-309)
Gaussian Sum Rules for Optical Functions

- 8-24 I. KIMEL (IFUSP/P-307)
A New Optical Rotation Dispersion Formula
- 8-25 A.M. FIGUEIREDO NETO and L.Q. AMARAL (IFUSP/P-314)
Model of Aggregates of Micelles in Type I Lyotropic "Nematic" Liquid Crystals
- 8-26 A. NENCIU and G. NENCIU (Dubna, E17-82-207)
One Variable Analyticity and Periodicity of the Quasi-Bloch Functions
- 8-27 A. NEUCIU and G. NENCIU (Dubna, E17-82-208)
Dynamics of Bloch Electrons in External Electric Fields. The Existence of Ladder Resonances
- 8-28 V.S. ROGOV and P.D. SHIRKOV (Dubna, P5-82-293)
Thermal Conductivity of Molecular Gases (R)
- 8-29 W. MATZ and K. FELDMANN (Dubna, P14-82-265)
Recrystallization Study of Copper Bars by Neutron Diffraction at Pulsed Reactor (R)
- 8-30 V.N. BUGROV and S.A. KARAMIAN (Dubna, P14-82-325) (R)
Radiation Damage of GaP Single Crystal with ^{31}P and ^{40}Ar Ions
- 8-31 V.L. AKSENOV and A.Yu. DIDYK (Dubna, P17-82-165)
Phase Transitions in Structural Unstable Solid Solutions (R)
- 8-32 H. KONWENT and N.M. PLAKIDA (Dubna, P17-82-219)
A Microscopic Theory of Structural and Magnetic Phase Transitions in KMnF_3 Crystal. Formulation of the Model (R)
- 8-33 H. KONWENT and N.M. PLAKIDA (Dubna, P17-82-220)
Free Energy and Equations for Order Parameters in a Microscopic Theory of Structural and Magnetic Phase Transitions in KMnF_3 Crystal (R)
- 8-34 V.K. FEDYANIN (Dubna, P17-82-268)
Statistical and Dynamic Characteristics of Ideal Gas of Particle-Like Excitations at Low Temperatures (R)
- 8-35 B.N. VALUEV (Dubna, P17-82-329)
Calculation of the Spontaneous Magnetization of the Two-Dimensional Ising Lattice in Yang's Approach (R)

- 8-36 A.I. PILYAVSKY (Kiev, ITP-82-37P)
On Interaction Screening in the System Electrically Charged
Particles-Dynamical Membrane (R)
- 8-37 A.I. PILYAVSKY (Kiev, ITP-82-38P)
Distribution Functions of the System Charged Particles -
Dynamicsl Membrane (R)
- 8-38 I.A. VAKARCHUK (Kiev, ITP-82-50P)
The Bose-Einstein Condensation in the Quantum Liquid
Solution (R)
- 8-39 M.V. VAVRUKH and T.E. KROKHMALSKY (Kiev, ITP-82-58P) (R)
Effective Potential of Electron-Ion Interaction in Metals
- 8-40 P.I. YUKHNOVSKY and V.B. SOLOVJAN (Kiev, ITP-82-47P)
The Ground State of H^- Ion in the Screened Field (R)
(R): Russian

ニュース

[北海道大学理学部]

○ 談話会

6月17日 “超低温物理の現状と展望” 益田義賀氏 (名大理)

掲 示 板

基礎物理学研究所研究参加公募

下記の研究会の開催が認められました。出席ご希望の方は、1) 関心をもつテーマ、2) 提供したい話題(できるだけ具体的に)を添えてお申込ください。なお、日数、旅費に制限がありますので、講演時間、旅費の配分等につきましては、世話人にお任せください。

申込締切: 1982年10月末日

申 込 先: 813 福岡市東区箱崎, 九大・理・生物, 松田博嗣

記

1. 題目: 集団生物学の理論的研究。
2. 日時: 1982年12月16日(木)~18日(土)。
3. 場所: 京大・基礎物理学研究所
4. 趣旨: 集団遺伝学, 個体群生態学は, 生物集団における遺伝子, ゲノムの頻度ないしは個体数などの時間的空間的变化の法則性を追求することによって, 生命現象, 就中生物進化の包括的因果論的理解に到達しようとするものである。いずれにしても, 様々な状態にあって自己複製能をもつ多数の要素(以下これをレプリコンと総称する)の集合の時間発展を力学的に取扱おうとする理論的立場からすれば, 両者には本質的な差違はなく, 共に粒子系の統計物理学に対するに, レプリコン系の統計物理学であるとの意識の下で研究をすすめることも可能で, 一つの有効な方法と思われる。このような課題に関心をもつ研究者の参加を広く公募などによって求め, 具体的な研究成果の総合的報告と, それを通じての討論, 意見交換などを行い, 今後の研究方向を見定めたい。
5. 世話人: 寺本 英(京大・理), 重定南奈子(京大・理),
石井一成(九大・理), 松田 博嗣(九大・理)。

編集後記

暑中御見舞申し上げます。

今年の梅雨は、阪神タイガースの久々の快進撃におどろいてか、雨らしい雨も降らぬまま、空梅雨で終りそうです。大学は夏休みに入り、町は祇園祭たけなわです。

物性研究、今月号は田沼先生の層間化合物の講義ノートと修士論文（今年度第2回目）を掲載決定しました。今月号は残念ながら投稿論文がありませんでした。最近、投稿論文が少なくなっておりますが、原因の1つに雑誌の発刊の遅れが考えられます。仲々良い方策がありません。編集委員一同、大変申しわけなく思っておりますが、参考までに例年の発行ペースは以下のものであります。現在では、投稿後3～4ヶ月に雑誌に掲載され出版されておりますが（7月中頃に4月号まで、すでに発刊されている）、少しずつ良くなり12月号では2ヶ月遅れぐらいまで遅れが解消されます。その後1,2,3月号が再び遅れてしまいます。この辺の事情は残念ながら毎年同じようです。それでも投稿とは申し上げにくいのですが、よろしくお願い致します。

（T. M.）

物 性 研 究 第38巻 第5号（昭和57年8月号） 1982年8月20日発行

発行人 長 岡 洋 介 〒606 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606 京都市百万辺交叉点上ル東側
TEL (075) 721-4541～3

発行所 物性研究刊行会 〒606 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 13,200円

会員規定

個人会員

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規入会お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume (4月号～9月号) 3,000円

2nd volume (10月号～3月号) 3,000円

計 6,000円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都1-5312) (現金書留は御遠慮下さい)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず会員本人の名前を明記して下さい。
3. 送本中止の場合：次の volume より送本中止を希望される場合、かならず「退会届」を送付して下さい。
4. 会費の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols. 以上の会費を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人宛送本中に大学等で一括配布を受けるようになった場合は、必ず「個人宛送本中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等により送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関会員

1. 会費：学校・研究所等での入会及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 1,100円、1 Vol. 6,600円、年間13,200円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。入会申込みをされる時、支払いに請求、見積、納品書が各何通必要かをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合：発行途上にある volume の途中送本中止は認められません。退会される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「退会届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

☎ (075)751-2111 内線7051 (075)722-3540(直通)

物 性 研 究 38-5 (8月号) 目 次

○講義ノート

グラファイト層間化合物の物性.....田沼静一..... 277

○修士論文(1981年度)

Feおよび Ni_3Fe のメスバウアー回折大井好晴..... 312

○基研研究部員会議・運営委員会報告..... 368

○プレプリント案内..... 370

○ニュース..... 373

○掲 示 板

基礎物理学研究所研究会参加公募..... 374

○編 集 後 記..... 375